

謹賀新年

市民力あふれる
住みよいまちを目指して



前橋市長 高木 政夫

市民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年1年間を振り返りますと、中核市移行や富士見村と合併して2年目を迎え、「新生・前橋市」にとってさらな

る発展と飛躍の年になりました。

「生命都市いきいき前橋」を将来都市像に掲げ、「元気で楽しい、魅力ある前橋」づくりに取り組んでいる本市では、

昨年、中学1年生の女子に対する子宮頸がん予防ワクチンの接種費用の全額助成や、図書館の各分館の土日曜・祝日開館を実現したほか、市立の全幼稚園と小中学校の各教室

にことしからエアコンを設置することを決定するなど、「暮らしやすさ」を高める施策を進めてきました。

一方、本市の財政状況に目を向けますと、国内外の経済情勢などの影響により、依然として厳しいものとなっております。しかし、行財政運営にかかる無駄の排除を進めたことで、健全財政を維持しています。引き続き、本市が進むべき方向に対し、勇気を持って「選択」と「集中」を図り、経営資源を重点配分していくとと考えています。

そこで、平成23年度の行財政方針を、「住んで安心、暮らして満足。市民力のまちなち前橋」と定め、健康や環境、日常生活の不安を解消し、全国トップクラスの安心と住み心地を目指すとともに、足腰の強い財政基盤を確立し、市民サービスのさらなる向上に努めます。また、来年度中に完了するJR前橋駅北口広場整備や児童文化センターの改築をはじめ、市立美術館や二中と四中を統合するみずき中の整備にも着手するなど、市民

の皆さんの生活に直結した本市の新しい「顔づくり」へ着実に取り組めます。さらに、赤城山を中心とした豊かな観光資源や地域資源の情報発信などを積極的に行い、前橋の魅力や観光力を強化していきます。

とりわけ、ことしは「群馬ドステイネーションキャンペーン」が開催される大きなチャンスの中でもあります。この国内最大規模の大型観光キャンペーンを、本市の知名度やブランド力の向上につながる絶好の機会ととらえ、本市の魅力をより意欲的に、市民の皆さんと一緒にアピールしていきたいと考えています。

なお、昨年の市政懇談会では、「見つけよう！伝えよう！前橋・赤城の魅力」をテーマに、市内全24地区の皆さんと意見交換を行いました。多くの素晴らしいアイデアをいただき、市民の皆さんが行政とともに前橋を盛り上げていこうという機運が感じられ、大変勇気付けられました。

今後とも、関係機関や団体との連携を図りながら、各地

域ではぐくまれてきた歴史や文化、赤城山を軸とする観光資源、高い農業生産力などを生かしたまちづくりを推進していきます。そして、市民の皆さんにも、これまで以上に「市民力」「地域力」を発揮していただくとともに、自信と誇りを持ち、前橋の自慢できるところや魅力を発信していただきたいと思います。

結びに、本年が市民の皆さんにとって素晴らしい年となりますよう、心からご祈念申し上げますとともに、市政への一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

明けまして

おめでとうございませう

平成二十三年 元旦

前橋市議会議員一同

明けまして

おめでとうございませう

平成二十三年 元旦

前橋市行政自治委員一同